



川村 成二

かすみがうら市議会
(日立建機労組/土浦支部)

安全・安心なまちづくりを推進

平成23年に土浦協同病院が土浦市おおつ野地内へ移転開院したことに伴い、より多くの市民、近隣市から自動車や公共交通機関を利用して通院する方々、さらには救急搬送においては年間を通して24時間対応することなどから、土浦、かすみがうら、石岡の3市が連携して幹線道路の整備を進める必要があるとの認識のもと協議が進められていました。

既に土浦市とかすみがうら市の間では協議が進み、整備に着手しています。この度、平成28年度石岡・かすみがうら河川・広域道路整備促進協議会総会において、石岡市とかすみがうら市の間で新設道路2路線の整備構想が承認されたことを一般質問で公開出来ました。

新設道路の早期完成には、地元市民の理解と地元の盛り上が

石岡市・かすみがうら市連携による新設道路2路線の整備構想



りが重要なポイントになります。広域的な救急搬送に不可欠な幹線道路としての機能だけでなく、新設道路による面的な整備に加え、地域活性化が進められる方策や災害時において避難路や救援物資の輸送路としての役割も期待されるなど、多面的な機能評価を市民のメリットとして認識出来るタイムリーな広報も必要です。

新設道路の整備は、市民の生命を守り、良好な生活環境の保全につながる、安全・安心なまちづくりの重要課題として推進していきます。



千葉 正弘
日立グループ議員団幹事長
栃木市議会(日立大谷労組/栃木支部)

浅野さとしの勝利を勝ち取ろう

日立グループ議員団は、7月12日に東京(神田)おきまして、第26回の総会を開催しました。ゆいまーるひたちにおける、はじめての定期大会開催に伴い、都内での設営となりました。一年間の反省と次の一年に向けた方針を確認させていただきました。今回の総会で、西野英夫氏(前北茨城市議会議員)、鈴木直明氏(前静岡市議会議員)の両名が退会となりました。これまでのご労苦に敬意を表するとともに、今後のご活躍を心からご祈念申し上げます。

東京都議会議員選挙の結果は、既に周知の通りの結果となりました。この選挙を通じて関係にとどまらず、首相までも間違った発言がなされました。その影響もあり、政権の支持率は急落。その

影響と都知事率いる都民ファーストの勢いが、自民党の大敗という結果になりました。しかし、民進党はその都民の批判の受け皿になることが出来ず、民進党も議席を減らす結果となりました。

民進党はその結果を反省する中で、野田幹事長が責任を取って辞任。直後に蓮舫代表も急きょ退任することとなりました。この二人の辞任の流れを皆さんはどのように感じてくださいか。民進党が一つになる結束力をいま発揮すべき時ではないでしょうか。

概ね一年以内に、衆議院解散総選挙は実施されます。どんな情勢であろうと、私たちは、大島章宏の後任「浅野さとし」の勝利を議員団一丸となって勝ち取ろうではありませんか。皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

おおはた章宏代議士よりバトンを引き継ぎ立候補予定

新しい力で未来を拓く

あさの 浅野さとし

ホームページ
https://www.asanosatoshi.com/

Facebook
satoshi.asano.564

安来市議会議員選挙 2017年10月29日 予定

日立金鷹労組 安来支部 原瀬 清正

日立金鷹労組 安来支部 澤田 秀夫

ご支援よろしくお願ひいたします

今号の読みどころ

議員団レポート…(栃木市議会、日立市議会、安来市議会、東海村議会、かすみがうら市議会) P2~4
幹事長の主張…浅野さとしの勝利を勝ち取る
大島衆議院議員・国政レポート…真面目に働く者が報われる社会実現のために!

P4

P2~4

大島衆議院議員・国政レポート



日立グループ議員団会長
衆議院議員
大島 章宏



JAM要請書を国土交通省へ提出

漫画ピクトグラム研究会で発言(右は松本零士氏)

真面目に働く者が報われる社会 実現のために!

新代表選出で新しい流れを!

日立グループ連合の皆さん、議員団の皆さん、日頃のご支援とご協力に感謝申し上げます。特に、7月2日に実施された東京都議会議員選挙では複雑な政治状況の中でありましたが、全力でのご支援ありがとうございました。当初、小池都知事率いる「都民ファースト」に押されて、獲得議席は3議席またはゼロかとさえ言われていましたが、働く仲間の皆さんのご支援によりやっと5議席獲得することが出来ました。しかし、結果としては、自民党とともに惨敗という結果でした。このような事から、蓮舫代表は7月27日の記者会見で、突然辞任表明され、8月21日告示、9月1日投票で代表選挙が実施されました。

安倍政権が国民の信頼を失う中で、8月3日に内閣改造を実施し、幾分支持率も回復基調となったことから解散総選挙に打って出るのではないかと観測もあります。新しく選出された代表の下に、皆さんのご期待に応えることが出来る新しい旗を掲げ、安倍政権に対峙し、国民の期待に応える新しい政治の流れを作らなければなりません。まさに「常在戦場」です。

浅野さとしさんに対するご支援を!

特に、前原誠司さんを中心に昨年10月より、慶応義塾大学の井手英策教授とともに「すべての国民が安心して暮らせる社会を作るべきだ」として「尊厳ある生活保障総合調査会」の活動を展開し、すべての国民が安心して暮らせる社会制度の実現をめざして政策を練り上げてきました。また、野党連携についても連合初代会長である山岸章さんが提唱する非自民非共産の政治路線を踏襲することが求められています。

また、これらの政策と方針を明確に示して、「雇用不安・生活不安・将来不安」を払拭し、安倍政権に代わり、国民の期待に応える新しい政治が強く求められています。

遅くとも来年末までには総選挙が実施されます。真面目に働く者が報われる社会を実現するために、働く者の代表として、歴史と伝統ある茨城県第5総支部長として全力で地域活動を展開している、日立グループ連合、そして電機連合公認予定候補の「浅野さとし」さんに対する皆様のご支援をどうぞよろしくお願い致します。

市政だより

今年度から政務活動費は後払い式に



今後も議会改革に積極的に取り組む

視察も積極的に行い議会改革を進める栃木市議会



千葉 正弘
栃木市議会
(日立AP労組/栃木支部)

政務活動費の用途やその不適切な処理などに関する様々な報道がなされました。

栃木市議会としては、問題があったわけではありませんが、疑念を持たれない制度にするにはどのようにすべきかを考え、検討を重ねました。その結果、政務活動費としてお金を先に預かり、年度末に精算をする方式（前払い式）を改めることと致しました。今年度から、支出が生じた都度、政務活動費の支払

請求をすることと致しました。なお、この請求の必要書類の中に、視察研修等の場合は報告書も添付しなければ、請求出来ない仕組みとさせていただきます。

また、平成29年度交付分の収支報告書に係る書類をホームページで公開することと致しました。今後も、市民に分かりやすい議会活動となるよう、議会改革に積極的に取り組んでいきます。

市政だより

「行財政改革推進特別委員会」設置

勤労生活者の代表として公平公正な意見提起に努める



澤田 秀夫
安来市議会
(日立金属労組/安来支部)

新設された総合文化ホール「アルテピア」



今年開庁した新庁舎

2017年3月の定例会において、議会提出議案の「特別委員会の設置」を確認しました。この背景には、執行部提出議案の一般会計当初予算案と中期財政計画との差異から、多くの議員が執行部に対して質問を浴びせ、結果的に執行部は当初予算を取下げ、修正予算案を再提出して当初予算が決定しました。

議会としては、歳入歳出のバランスが崩れ当分の間は基金を取り崩しての市政運営の状況になることに危機感を感じ特別委員会の設置に踏み込みました。特別委員会の名称は「行財政改革推進特別委員会」で、その中に「財政計画検証部会」、「公

共施設等総合管理計画検証部会」の二つの部会を置きました。2017年9月議会では中間報告をして選挙に突入、改選後の新議会に引き継ぐ予定です。

今年7月31日に新安来庁舎が開庁、9月7日には総合文化ホールが開館、既に完成した給食センターと併せ重要な三事業がすべて完成し、市民にとって喜ばしいことではありますが、一方では更に厳しくなる財政状況です。「行財政改革推進特別委員会」の重要性を感じながら勤労生活者の代表として意見提起に努めていきます。

日立市新庁舎竣工

市政だより



大庭 弘美
日立市議会
(日立金属労組/日立支部)

次世代に受け継がれる庁舎へ



© 鈴木研一

日立市役所「本庁舎」



日立市議会「議場」

東日本大震災で大きな被害を受け、平成27年4月から建設が進められてきた新庁舎（第1期本館工事：執務棟）が完成し、7月18日より業務を開始しました。

新庁舎は、災害に強く、市民が利用しやすい、まちづくりの拠点としての機能を有した施設として、震災からの復興の総仕上げとして位置づけ、建設が進められました。

日立市出身の世界的建築家、妹島和世氏設計による地上7階、地下1階建ての庁舎は、災害に強い免震構造の採用のほか、コジェネレーション（都市ガス）発電機の設置や72時間連続した電気が供給できる非常用発電機の設置など、災害対策機能の充実と全館LED照明を採用し省エネにも配慮した庁舎となっています。また、庁内には災害対策本部を常設し、災害時の指揮・情報伝達の中核的機能を確保しました。

今後、旧庁舎の解体後に大屋根や多目的ホールやレストランなど、人々が自由に集うことが出来る「みんなの広場」の第2期工事に着手し、平成31年3月、庁舎全体の完成をめざします。

世代を超え多くの市民に愛され「ひたちらしさ」に満ちた日立市役所の完成が待たれます。

「働き方改革」で行政サービスの利用促進

村政だより

新たに見出した時間の有効活用を



「働き方改革」で退勤後の図書館利用が可能



体育館のトレーニングルームなど公共施設の有効活用が望まれる



越智 辰哉
東海村議会
(日立労組/日立支部)

現在、「働き方改革」の取組みが労使一丸となって推進されています。

マスコミ報道等では、「働き方改革＝消費喚起・まちの活性化」へと結びつけるような傾向が強いですが、私は新たに見出された時間は、ぜひとも行政サービスの利用へと目を向けていただきたいと考えています。

現役世代は、同じように税金を納めているながらも、どうしても仕事のために様々な行政サービスを受ける機会が少なく、また行事や地域活動の参加も難しい状況です。しかしながら、「働き方改革」によって見出された新たな時間を活用して、退

勤後に図書館を利用したり、体育館のトレーニングルームで汗を流すなど、幅広い利用方法が考えられます。一方、行政としても「働き方改革」の国民的な広がりや、現役世代の方々が行政サービスへの関心の高まりや公益的活動へ参画するきっかけが増えるという「住民意識の変化」を招くのもであると認識する必要があります。

これまでの行政サービスのあり方を今一度見つめ直し、公共施設の有効活用のみならず、地域福祉活動の新たな担い手発掘へとつながるよう、行政に対しても提言していきたいと考えます。